

「チルドビーフ・ポーク」包装用高収縮性フィルム

# バリアロン™ Sバック

SNKタイプ



シール部分どうしが、くっつかないので  
効率良く、小サイズのバックが可能です。

スカート部分を重ねて真空包装機にセットしても、シール部分どうしが溶着しないので一度の機械操作で複数個の包装が可能です。真空パックの小型化ニーズに効率よく対応でき、省エネにも貢献できる、新しいタイプの「チルドビーフ・ポーク」包装用高収縮性バックです。



本バックを重ねてシールしても・・・袋どうしが溶着しません



従来のパックを重ねてシールすると・・・袋どうしが溶着



AsahiKASEI

# バリアロン™ S バック7 SNK717°

## 特長

- ①このバッグは75～80℃の温度で十分に収縮します。
- ②袋を重ねてシールしても、袋どうしが溶着しません。  
1回の包装個数を増やせて能率アップ!
- ③ドリップ発生を抑制できます。
- ④酸素や水分を通しにくい特性を持っています。
- ⑤透明性・光沢に優れています。
- ⑥耐衝撃性・耐ピンホール性を備えています。
- ⑦シール温度範囲が広いので、どの真空包装機にも適応できます。

## 物性

項目	試験方法	条件	単位	代表値 (タテ/ヨコ)
引張強さ	ASTM D-882	23℃, 50%RH	MPa	50/60
伸び	ASTM D-882	23℃, 50%RH	%	120/140
熱収縮率	ASTM D-2732	75℃ 温水, 4秒	%	36/44
		80℃ 温水, 4秒		40/48
酸素透過度	ASTM D-3985	4℃, 65%RH	ml/(m <sup>2</sup> ·day·MPa)	24
透湿度	ASTM F-1249	4℃, 90%RH	g/(m <sup>2</sup> ·day)	2
曇り度(ヘイズ)	ASTM D-1003	23℃, 50%RH	%	9

注) 本データは測定値の一例であり規格値ではありません。

### ●標準仕様

寸法 ●巾/200～400mm 50mm間隔 ●長さ/250～1,300mm 50mm間隔

※巾/450～600mmにつきましては、SN3タイプをご使用ください。

SNKとSN3は、重ねてのシールが可能です。

## 旭化成ケミカルズ株式会社

樹脂製品事業部 バリアフィルム開発・マーケティング部

〒101-8101 東京都千代田市千代田1-105(神保町三井ビルディング)

Tel: 03-3296-3422 Fax: 03-3296-3487

URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/saranfilm/>

●お問い合わせは